

御深井釉陶器の魅力

魅力

江戸時代、織部に続いて焼かれ始めたやきものが「御深井釉陶器」でした。御深井釉という釉の名称は、尾張徳川家の御用窯で焼かれた「御深井焼」の釉調に似ているところから付けられたものです。

土岐市内では、窯ヶ根窯・清安寺窯・隠居表窯2号窯・八幡窯などで焼かれました。

御深井釉陶器は、胎土・釉薬・文様が多彩な織部とは対照的で、単一釉薬によるモノトーンで青磁風なやきものです。初期の御深井釉の製品には、茶碗・水指・花入などの茶陶や、向付・鉢といった懐石用食器があります。

美濃陶磁歴史館では、シン

プルで凜とした美しさが魅力の御深井釉陶器を、館蔵品の中から紹介する企画展を開催します。

会期

十二月二十五日(土)まで

会場

美濃陶磁歴史館・第二展示室

休館日

月曜日、祝日の翌日

入館料

大人二百円、大・高校生百円、小・中学生五十円

入館時間

午前十時～午後四時三十分



企画展についてのお問い合わせは、美濃陶磁歴史館(☎

☎1245)へどうぞ。



元屋敷陶器窯跡

11月1日(月)～7日(日)は文化財保護強調週間です

文化財保護強調週間は、十一月三日の「文化の日」を中心に、「教育・文化週間」の一環として、文化財の保護やその大切さを考え直そうという週間です。

土岐市には、国指定史跡「元屋敷陶器窯跡」や「乙塚古墳附段尻巻古墳」、天然記念物「白山神社のハナノキ・ヒトツバタゴ」など多くの文化財があります。

私たちの身近にある大切な文化財。この機会に、土岐市の歴史と文化に触れてみてはいかがでしょうか。

文化財などについてのお問い合わせは、文化振興課(内線556)へどうぞ。